

第102回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナー(愛媛)

四国本部 事業委員会副委員長

正岡 久典

Masaoka Hisanori



1. セミナーの概要

2025年6月7日(土)に、松山市「えひめ共済会館」において、第102回CPDセミナー・公開講座・防災セミナーおよび、第二次試験合格者祝賀会・懇親会を開催いたしました。

表1 プログラム

1. 開会挨拶(14:00~14:10)

(公社) 日本技術士会四国本部

副本部長 須賀 幸一

2. CPDセミナー(14:10~15:10)

演題:『人と動物の臨床検査』

講師:岡山理科大学 獣医学部獣医学科

教授 畑 明寿氏

3. 公開講座(15:25~16:25)

演題:『小川正孝アジア人初の新元素発見者』

講師:愛媛県総合科学博物館

学芸課長 久松 洋二氏

4. 防災セミナー(16:30~17:30)

演題:『自然被害と住み続ける権利-

能登半島地震を中心に』

講師:愛媛大学 法文学部 教授

副学長・ジェンダー協働推進センター長

鈴木 静氏

5. 技術士第二次試験合格者紹介(17:40~17:50)

6. 祝賀会・懇親会(18:00~20:00)

(1)開会挨拶 四国本部広報委員長 岩佐 隆

(2)乾杯 四国本部事業副委員長 正岡 久典

(3)中締め 日本技術士会 米虫 聡



写真1. セミナー会場の様子

2. CPD セミナー 畑 明寿氏

畑教授からは、人と動物の臨床検査について説明がありました。

臨床検査とは、患者に接して診察・治療を行う臨床の場で、ある基準をもとに異常の有無を調べる検査であるとのことでした。目的としては診断の補助、病気の早期発見や予防であること。臨床検査技師の仕事には、検体検査と生体検査があり、検体検査は尿、糞便、髄液、喀痰などの一般検査、血液・尿の生化学・免疫検査、血液細胞の算定・形態観察、微生物検査、病理検査、輸血検査などが含まれるとのことでした。

ヒトの臨床検査は標準化が進み、検査結果の信頼性と比較可能性が向上していること。また、動物の臨床検査も技術の進歩により精度が向上し、ペットや家畜の健康管理に役立っていること等について最新の情報を交えて詳しくご説明頂きました。



写真2. 畑 明寿氏の講演

セミナー会場参加 57名(Web参加 7名)・懇親会 37名のご参加を頂きました。

3. 公開講座 久松 洋二氏

引き続き公開講座では、愛媛県総合科学博物館学芸課長 久松 洋二 氏より、『小川正孝アジア人初の新元素発見者』についてご講演がありました。

小川正孝氏は、松山出身の明治時代の科学者であり、1908 年、アジアで初めて新元素の発見を発表し「ニッポニウム」と名付けました。現在では、あまり知られていませんが、日本の近代科学史における先駆的な存在だったとのことでした。

1908 年に彼が発見したニッポニウムは、周期表には掲載されていないものの、アジア初の発見元素として注目されました。元素とは、あらゆる物質の基本的な材料です。小川氏のニッポニウムは、昭和五年の公文書には「ニッポニウム」研究は未完成と記されていました。小川氏はニッポニウムの発見を「予報」とし、詳細な報告を後にするとしましたが、続きの論文は書かれず、他の研究者によっても発見されなかったため、その存在が疑問視されました。

小川正孝氏は研究業績、教育業績、大学運営のどれも素晴らしいものでしたが、ニッポニウム研究未完成認定がきっかけとなり、彼の生涯を正しく評価する者が現れませんでした。しかし、1996 年に吉原賢二氏が小川正孝氏のニッポニウムが原子番号 75 番のレニウムであることを科学的に証明し、小川正孝氏の業績が再評価されました。小川正孝氏が 1908 年に発見したアジア初の新元素ニッポニウムは、現在では 1925 年に発見されたレニウムと呼ばれる元素だったことが明らかになったとの事について、詳しくご説明頂きました。



写真 3. 久松 洋二氏の講演

4. 防災セミナー 鈴木 静氏

鈴木 静教授からは、自然被害と住み続ける権利『能登半島地震を中心に』の活動実績についてご紹介がありました。

能登半島の過疎地調査を通じて、高齢者が住み続けたいにもかかわらず、医療福祉資源の不足で都市部に移らざるを得ない現状の報告があった。報告の趣旨は、社会保障分野から「住み続ける権利」を人権として提起することでした。能登半島地震と豪雨災害後の現状では、住民が生まれ育った地域に住み続けたいという願いが強く、これを保障する「住み続ける権利」が重要となっているとのことでした。石川県の復興プランに対しては、被災住民の思いを反映した具体化が求められています。まとめとして、復旧・復興の起点として「住み続ける権利」を考えることが重要であり、南海トラフ大地震に備えた国や自治体の姿勢が問われていることについて詳しくご説明を頂きました。



写真 4. 鈴木 静氏の講演

5. 技術士第二次試験合格者紹介

難関の第二次試験、合格おめでとうございます。



写真 5. 第二次試験合格者

6. 祝賀会・懇親会

セミナー後、祝賀会・懇親会が開催されました。

四国本部 岩佐広報委員長の開会挨拶、四国本部 正岡事業副委員長の乾杯の音頭で始まり、約2時間の歓談の後、米虫氏の中締め挨拶で閉会しました。



写真 6. 祝賀会開会挨拶



写真 7. 祝賀会の様子



写真 8. 中締め挨拶